

ランニング学会常務理事会議事録

日 時：平成 19 年 7 月 30 日（月）18:00～20:00

場 所：品川イーストワンタワー21 階 小会議室

参加者：11 名

議事

- 1) 会長あいさつ
 - 2) 次期ランニング学会大会について
 - 3) アミノバリューランニングクラブの現状
 - 4) その他
-

1) 会長挨拶

顧問 小野三嗣先生（3/21）、名誉顧問 ラルフ・S・パッフエンバー先生の
逝去について報告があった

2) 次期ランニング学会大会について

山西哲郎理事から報告

日 程：3 月 28～30 日

会 場：群馬大学荒牧キャンパス（前橋市）

28 日は前夜祭として群馬県民会館ホールを予定している。

今後、大会実行委員会は関東地区の会員を中心に構成する。

実行委員長は山西が担当し、月 1 回の開催を予定している。

既に学会組織委員会を 3 回開催した。

市民の方と一緒に出来る学会大会をめざしたい。

「ランニング」ということを整理したい。

今後、中身については実行委員会を開催し具体的にプランニングしたい。

3) アミノバリューランニングクラブの現状

検討事項

1. 7/30 現在の問題点などについて検討・報告

会員状況 47 クラブ 2138 名 (06 年) →3380 名 (07 年)

実入会数は 3050 名

2. ランニングシャツの件

会員の 30%にあたる 1,000 人分を生産・販売することに決定した。

3. ランニングシャツの仕様について

ランニング学会は、AVRC のランニングシャツで陸連主催のレースに参加する場合の着用などについてアナウンスする必要があるだろう。

ロゴの大きさなどが陸連のルールなどに抵触しないかなどを調べる必要がある。

ランニング学会の統一した見解を会員へアナウンス。

4. ホノルルマラソンツアーについて

ツアーは学会主催ではないが、ホノルルマラソン参加者に紹介する。

賛助会員に登録した旅行社のプランを会員に紹介する

ホノルルマラソン以外のツアーも今後、斡旋。

5. 陸連登録について

AVRC (アミノバリューランニングクラブ) として東京陸協へ登録を完了した。

アミノバリューランニングクラブ会員が陸連登録を行う場合、登録料として 1 人 2100 円が必要。

全国の会員が対象であるが、随意である。

今後、各クラブに登録方法などをアナウンスする。

6. 質疑応答

ホノルルマラソンツアーについて旅行社は 3 社に限定するのか？

特に限定するものではなく、学会の賛助会員になっていただく事を条件としたい。その特典としてパンフレットなどに「アミノバリューランニングクラブ」、「ランニング学会」の名称の使用を許可するものである。

4) その他

1. 年会費について

ラン学研究1巻発行におよそ50万円の支出。年2回の発行を考慮し、加えて、編集委員会費などを入れると年間120～130万円の支出となる。

今後、会費の値上げを視野に検討する時期に来ているかもしれない。

2. 賛助会員への申し込み

1. 日清ファルコン（現在、社内での決済中）

2. (株)スペースエイジ（広告代理店）

3. 旅行社が2～3社

3. 後援会名義仕様願い

ヒロシマMIKANマラソン大会

→承認された。

4. 日本学術会議健康・スポーツ科学関連協力学術団体との連携について

代表者を8/31迄に1名選出

旅費などのこともあるので東京都在住者が良い

第1回は有吉副会長にお願いした。

5. ランニングインストラクター検討委員会

有吉副会長よりランニングインストラクターに関する検討委員会などの進め方について提案があった。

その案に対して半年前倒しで進めるべきではないか、他の指導者資格よりも実践に役立つシステムづくりを構築してもらいたい、指導法やテキストはランニング読本、ランニング学研究第12巻特別号などを活用してはどうか、などの意見が出された。

6. 会則の変更

第5条の2 賛助会員 年額1口10万円を年額1口3万円ないしは5万円にしてはどうか。

1口の額を少なくする方がよいのではないか。

口数によって賛助会員のメリットに差をつけてはどうか。

賛助会員と連絡を取り合う担当者を決めるべきではないか。
理事会としては小口にして総会で問うという事になった。
またいくつかのパターンも決め詳細は今後検討したい。

7. 第21回大会について

関西から大阪学院大学、関東から東京海洋大学からの学会大会開催の打診があった。

今後の検討課題。

8. 雨宮会長から

1. 小野三嗣先生の密葬によるお別れの会が行われるという報告があった。
2. 今後、顧問の先生を2名追加したい。

1名は佐々木秀幸先生を総会で推薦したいと考えている。

文責 足立哲司